

県南 広域振興局長

提出者 キオクシア岩手株式会社
住所 〒024-8555 岩手県北上市北工業団地 6番6号
氏名 キオクシア岩手株式会社
代表取締役社長 柴山 耕一郎

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	キオクシア岩手株式会社	*整理番号			
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地 6番6号	*受理年月日	年 月 日		
エネルギー使用量	205,855 kl	*施設番号			
自動車の使用台数	台				
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。				
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況					
その他の地球温暖化の対策の実施状況					
変更年月日及び理由	年 月 日				
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない				

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考 1 *印の欄には、記載しないこと。

2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。

3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。

4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

県南広域振興局
花保セ第176-13号

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023)年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)	7.00	kL	234		kL		234	16	16	0	
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油		kL			kL						
	軽油	4.00	kL	152		kL		152	10	10	0	
	A重油		kL			kL						
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス											
		液化石油ガス(LPG)		t			t					
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	5,838.00	t	319,339		t		319,339	16,276	14,676	1,600
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
			一般炭		t		t					
			輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
		輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t							
コールタール		t			t							
コークス炉ガス		千m ³			千m ³							
高炉ガス		千m ³			千m ³							
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³							
転炉ガス		千m ³			千m ³							
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³						
	()											
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
その他燃料()												
小 計 ①								319,724	16,302	14,702	1,600	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
	小 計 ②											
電気	電気事業者①	884,969.00	千kWh	7,646,132		千kWh		7,646,132	422,130	423,515	-1,384	
	電気事業者②※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光	3,618.00	千kWh	13,025		千kWh		13,025			
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh							
小 計 ③								7,659,157	422,130	423,515	-1,384	
合 計 ④=①+②+③								7,978,881	438,432	438,217	215	

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1) のエネルギー合計使用量 × 0.0258)

原油換算エネルギー使用量	205,855	kL
--------------	---------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	438,432	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		438,432	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

省エネ法に基づきエネルギー消費原単位を年平均1%削減するため25年度までに3%削減

→23年度は対前年8%増加

(理由)減産により生産量(分母)が減少したが、エネルギー使用量(分子)は機器のスタンバイや機能維持のために減らすことができないものがあったため。

【具体的な取組状況】

①電気

半導体製造装置および空調・排気・熱源等の動力設備の運転台数や出力を調整し最適運転を進める。

→生産量に応じた出力調整や機器停止をし最適運転を進めた。

②LNG

運転台数や出力を調整し最適運転を進める。

→生産量に応じた出力調整や機器停止をし最適運転を進めた。

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

屋根上太陽光発電設備の利用(2023年1月設置): 毎年304万kWh以上

→23年度発電量実績361.8万kWh

非化石証書の購入

→1,000,000kWh分の非化石証書を購入

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

特に無し